



ふるさと六ッ美を詠む

最優秀作品

《短歌の部》

- 【岡崎市長賞】 六ッ美北部小 六年 石川 紀穂
暗やみで光るほたるの後追えば川面にゆれるまんでんの星
- 【岡崎市議会議長賞】 六ッ美中 一年 山崎 魁人
宿題が終わらず困る僕たちをミンミン笑うセミの大群
- 【岡崎市教育委員会賞】 六ッ美北中 一年 澤田 明佳
どうどうと日なたに立ってるひまわりがおれを見るよとぐんぐん育つ
- 【岡崎市六ッ美商工会賞】 六ッ美北中 二年 坂本 敦志
こおろぎが我が家の庭のかたすみで今年もなくよ晩夏の夜に
- 【学区総代会賞】 六ッ美北部小 六年 安井 萌
ぼんおどり六ッ美音頭で輪を作りたいこたたけば心もはずむ

《俳句の部》

- 【岡崎市長賞】 六ッ美中 三年 梅村 美瑛
玄関に風がはこんだ紅葉かな
- 【岡崎市議会議長賞】 六ッ美西部小 五年 小林 亜海
ひまわりに追いつき追いこせ私の背
- 【岡崎市教育委員会賞】 六ッ美中 三年 大杉 篤也
夕やけにそつととびたつ赤とんぼ
- 【岡崎市六ッ美商工会賞】 六ッ美南部小 六年 酒井 杏
はすみ山スイカかじって見る景色
- 【学区社教委員会賞】 六ッ美西部小 五年 河村 観月
セミの声お経と合唱しているよ

十二月一日(土)、六ッ美西部学区市民ホームにおいて、一筆啓上・作左の会主催、第九回ふるさと賞表彰式が、百五十名余の参加者を迎えて、盛大に開催されました。

俳句・短歌を合わせた応募総数は、これまでの最高を更新し、三千を超えるまでになりました。作品も、六ッ美の情景が浮かぶような力作ぞろいで、来年以降のさらなる盛り上がりをも、期待させられる会となりました。



トロフィを受け取る受賞者

応募状況

俳句 昨年より一九一増
短歌 昨年より四八六増

